

「論理国語」シラバス

学科	普通科	学年	2 年	類型		組	1 ～ 4 組	単位数	2
使用教科書	探求 論理国語（桐原書店）								
副教材等	大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）								

1 学習の到達目標

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ② 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けているか。	(6)(7)(8)(9)(10) (11)(12)
思考・判断・表現	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。	(6)(7)(8)(9)(10) (11)(12)
主体的に 学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。	(1)(2)(3)(4)(5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)グループワーク等での対話への取組 (2)発問に対する応答	
言語活動の観察	(3)言語活動への参加状況 (4)学びの関連付け、活用への取組	
課題などの提出状況	(5)リフレクションシートの内容 (6)長期休業中の課題 (7)日々の課題	
発表・報告	(8)分析・考察の記述 (9)プレゼンテーション	
ペーパーテスト	(10)定期テスト (11)校内模試 (12)小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	気持ちよさという罪	・筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、自己を見つめ、自己の生き方を模索するきっかけを得る。また、他者との関わり合い方を考える。	(7)
	いのちは誰のものか? 晴れた空の下で	・論理展開が明快な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。また、「共感」「ともに生きる」という観点から人間の存在についての思索を深める。	(7)
	集落の創造	・評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	(8)
	変身に伴う快樂と恐れ―「山月記」を通じて	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。	(9)
	ゲームのルールをまとめる	・実用的な文章の読み解き方を習得し、実社会で役立つ文章作成力を養成するとともに、実社会との関わりについて実感をもって捉える。	(9)
二 学 期	動物の信号と人間の言語	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、人間の言葉の可能性について、幅広い視野から考えを深める。	(8)
	世界の見え方を変える	・「書く」とことと「読む」ことの往復運動の中で新たな問いが生まれ、世界の見え方が変わるという筆者の主張を踏まえ、「書く」とことについての基本的な姿勢について考える。	(7)
	淋しい人間―「こころ」を通じて	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。	(7)
	イスラム感覚 木を伐る人／植える人 〈知〉の深化 なめとこ山の熊	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、異文化理解と自然との共生の困難さについて考える。また、参考「〈知〉の深化」を通して、自然と人間の関係を見つめ直し、思索を深める。	(9)
	現実・相貌・物語	・評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。	(8)
三 学 期	ロボットは心を持つか	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、進歩する技術とともに人間のありようについての自らの考えをまとめる。	(8)
	見えぬものを見るということ もしも宇宙に行くのなら	・自他・文学・人間について述べた文章を読んで、「境界」をキーワードにして世界を捉え直す。	(7)
	暴力はどこからきたか	・文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉える。また、人類学・社会科学の知見を基に、共同体についての考えや、「民主主義」「自由」「近代化」などの普遍的な主題への理解を深め、日本の近代化の問題点を現代の課題として捉え直す。	(7)
三 学 期	キャラクターの身体、自動車の身体	・実用的な文章の意義と読み解き方を習得し、実社会でも役立つ文章作成力を養成するとともに、実社会との関わりについて実感をもって捉える。	(9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、すべての単元において評価項目として用いる。